

講師のプロフィール



すが わら かつ よし
菅 原 勝 吉

1967年 静内町に生まれる。
1986年 北海道静内高等学校卒業
1990年 静内町生活相談員となる。
北海道ウタリ協会静内支部 現北海道アイヌ協会新ひだか支部
に入会と同時に同支部事務局次長となる。
1998年 静内アイヌ語教室で本格的にアイヌ語の勉強を始める。
2005年 現在、静内アイヌ語教室講師を務める。
2007年 北海道ウタリ協会新ひだか支部事務局長となる。

協力者の紹介

かな まる
金 丸 テ ツ 1927(昭和2)年生まれ。幼い頃から周りの人達のアイヌ語を聞いていて覚えたアイヌ語で語る。

かり の よし み
狩 野 義 美 1933(昭和8)年生まれ。幼い頃、祖母の芦沢カメさんの膝に抱かれ、幾度となく耳にして覚えた言葉と自身の体験を語る。

し が せつ こ
志 賀 雪 湖 1981年より、静内町の織田ステノさんからアイヌ語を学ぶ。

【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

このテキストで用いられているアイヌ語の文章は、静内方言の話者である織田ステノ氏の言葉をもとに作ったものです。

このテキストで用いられているアイヌ語のカタカナ表記は、『アコロイタク』（札幌、北海道ウタリ協会、1994）の表記にほぼ従っています。ただし、unarpe はウナラペではなくウナルペと表記するなど違う点もあります。

【静内アイヌ語教室の活動について】

静内アイヌ語教室は、水・土・日曜日にシャクシャイン記念館、または新ひだか町公民館で行われています。
なお、詳しいお問合せ先は次のとおりです。

新ひだか町役場住民福祉部アイヌ政策推進室
TEL 代表 0146-43-2111 内線135 FAX 0146-43-3900

アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

月	日	LESSON	テ - マ	ページ
1月	3日	40	狩野義美さんの伝承1	4
	10日	41	狩野義美さんの伝承2	6
	17日	42	「(物語の中の)私」の言い方	8
	24日	43	自動詞の単数形・複数形1	10
	31日	44	自動詞の単数形・複数形2	12
2月	7日	45	狩野義美さんの伝承3	14
	14日	46	「公開収録」自動詞の単数形・複数形	16
	21日	47	「と言う」の言い方	18
	28日	48	～し続ける	20
3月	7日	49	狩野義美さんの伝承4	22
	14日	50	数の表現	24
	21日	51	「もう一度」の言い方	26
	28日	52	まとめ	28

物語の a(n)= -an を「私が」と訳すことについて 「自分は」とも訳す



狩野義美さんの伝承 1



例文

1. ウッポテンテン ウッポテンテン ピシカン コタン

uppo tenten uppo tenten piskan kotan

コケウラッキ ピラタチュチュ ピラタ チュ

kokewratki pirata cucu pirata cu

2. ハン チキサニ ハマテ ピウカネ トウワ チヤ

han cikisani hamate piwkane tuwa ciya

チリサケ チン コヤコヤ タカクルコ ピヤッ

cirisake cin koyakoya takakurko piyat



今日の学習

- ① 例文1～2は、新ひだか町静内在住の狩野義美(かりのよしみ)さん(1933<昭和8>年生まれ)が幼い頃、祖母の芦沢(あしざわ)カメさん(1864-1944新冠村大字滑若)から聞き覚えたものです。
- ② 意味が分かる部分、分からない部分があるようですが、丸ごと覚えて練習しましょう。
のちに、カメさんの娘であるおばさんから、「ピシカン コタン piskan kotan」は「辺りの村」、「ピラ pira」は「崖」という意味だと教えてもらったそうです。
- ③ カタカナ表記は狩野義美著の『新冠・静内地方のアイヌ語 郷土史話 随筆集—わが思い出—』に拠りました。

MEMO

狩野義美さんの体験談1

子供だった狩野さんを取り巻く世間の状況や、40歳過ぎてから、覚えているアイヌ語の記録を始めた頃のことをお話ししていただきました。いつもポケットに忍ばせていたメモ帳が、『新冠・静内地方のアイヌ語 郷土史話 随筆集—わが思い出—』の出版につながります。

- ・子供の頃の世間の目。
- ・大人の女性が集まると、お得意の言葉を駆使して会話する姿。
- ・40歳くらいまでは逃げ出したかった気持ち。
- ・命ある限り……。
- ・父が祈りをささげている姿が心に浮かぶ。
- ・祖母と会話している自分。
- ・言葉だけでもメモを。

MEMO

狩野義美さんの伝承 2



例文

1. チョウリキ チョウリキ チョンカマナイ タイショウ ラクラク

coriki coriki conkamanay taiso rakuraku

オモオモ スコトニ ポオトニ ポオ

omoomo sukotoni pootoni poo

2. シネンナ トウンナ レンナ ホイノ カルク

sinenna tunna renna hoyno karku

ユピ タンナ キシナ カピヤ トオ

yupi tanna kisna kapiya to

3. ポント プリ キリ タラ カレン

ponto puri kiri tara karen

トンチ サイナ パント キワ ショク

tonci sayna panto kiwa sok

4. ソモ ナンコル エク ナンコル。(繰り返す)

somo nankor ek nankor

来ないだろう 来るだろう

4'. エク ナンコル ソモ ナンコル。(繰り返す)

ek nankor somo nankor

来るだろう 来ないだろう

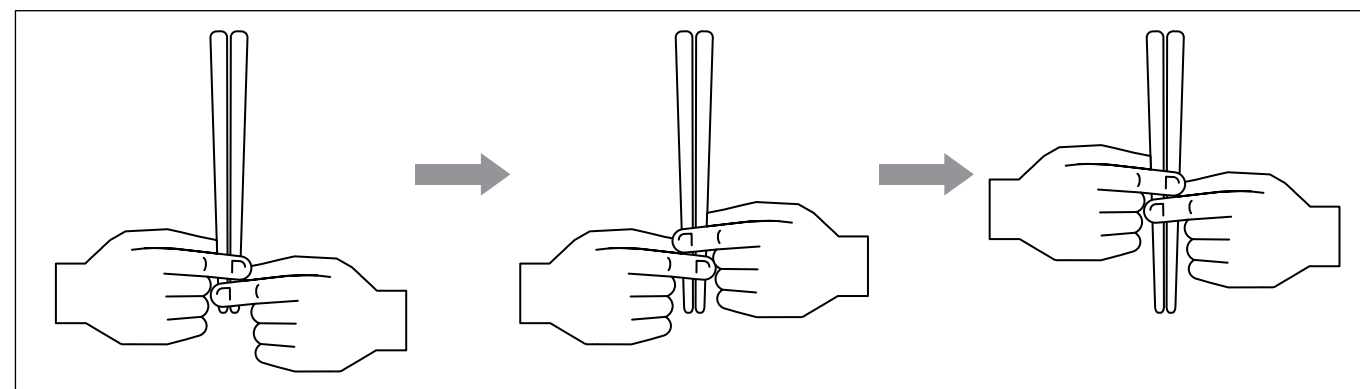


今日の学習

- ① 表記は、狩野義美著『新冠・静内地方のアイヌ語 郷土史話 随筆集—わが思い出—』に拠りました。
- ② 例文1～3は、静内町在住の狩野義美(かりのよしみ)さん(1933<昭和8>年生まれ)が、幼い頃、祖母の芦沢(あしざわ)カメさん(1864-1944新冠村大字滑若)から聞いたものです。芦沢カメさんによると、例文3はチョウリキエカシと呼ばれるおじいさんが歌っていたものだそうです。
- ③ 例文4と4'は子供のころのおじいさんのお宅を訪問したときの思い出話とともに教えていただきました。

狩野義美さんの体験談2

- ・母方の祖母に可愛がってもらう。
- ・祖母の膝の上で。
- ・おじいさんのお宅での思い出話。
- ・おじいさんが、お箸で占い？！



MEMO

「(物語の中の)私」の言い方



例文

ヤイリテリテ クス ソイエンパアン。

yayriterite kus soyenpa=an.

運動する ために 私は外に出る[複]。 (私は運動するために外に出た。<物語文>)



単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ヤイリテリテ	yayriterite	運動する
クス	kus	ために
ソイエンパ	soyenpa	外に出る
アン	=an	私は

目的を示す接続助詞。「クス kusu」と発音することもあります。複数形。単数形は「ソイエネ soyene」。

4人称の用法のひとつで、物語の中の「私が、私達が」を示し、自動詞の後ろにつきます。



今日の学習

① 例文の主語は「私」なのに、「ク ku=」ではなく、人称接辞「アン =an」が使われているのは何故だろうと思われた方もいるのではないのでしょうか。例文は、静内町の織田ステノさんが語った物語から引用したもので、物語の中の「私」には、例文のように4人称が使われます。

4人称については、レッスン26でまとめましたが、他動詞の前につく「ア(ン) a(n) = 私が、私達が」、自動詞の後ろにつく「アン =an 私が、私達が」、他動詞の前につく「イ i= 私を、私達を」があります。

物語で4人称を使うのは、実際に語っている「私」と物語の中の「私」を区別するためだと考えられています。

② また、静内方言では、自動詞の後ろにくっつく人称接辞「アン =an」を使った場合、単数形と複数形の区別のある自動詞は複数形が使われます。ですから、例文の「私が外に出た」は、複数形の「ソイエンパ soyenpa」を使って、「ソイエンパアン soyenpa=an」となっています。

日常会話	「私が外に出る」	クソイエネ	ku=soyene
物語文	「私が外に出る」	ソイエンパアン	soyenpa=an



アイヌ語の解説

③ アイヌ語は、誰の動作なのか示すため、動詞に必ず人称接辞をつけます。レッスン22「～するために(目的)」の言い方では、「クス kus」の前の動詞も、後ろの動詞も人称形にしましょうと、説明しました。

ところが、このレッスンの例文の「ヤイリテリテ yayriterite」のように、「クス kus」の前の動詞は人称形にならないこともあります。何故だか分かりませんが、「クス kus」の前の動詞が人称形にしても良いし、しなくても良いようです。

レッスン22で勉強したように「ヤイリテリテ yayriterite」を人称形にすると、自動詞ですから、次のようになります。

ヤイリテリテアン	クス	ソイエンパアン
yayriterite=an	kus	soyenpa=an
私は運動する	ために	私は外に出る



人称変化表(ヤイリテリテ yayriterite 「～が運動する」自動詞)主格人称変化

クヤイリテリテ ku=yayriterite	エヤイリテリテ e=yayriterite	ヤイリテリテ yayriterite	ヤイリテリテアン yayriterite=an	ヤイリテリテアシ yayriterite=as	エチヤイリテリテ eci=yayriterite	ヤイリテリテ yayriterite
私が 運動する	あなたが 運動する	彼が 運動する	(話相手を含む) 私達が 運動する	(話相手を含まない) 私達が 運動する	あなたが 運動する	彼らが 運動する



例題

次の文を完成させましょう。 ※「ソイエネ soyene、ソイエンパ soyenpa 外に出る」

1. ヤイリテリテ クス ()。
yayriterite kus ()。
運動する ために 私が外に出る[複] (<物語文>私は、運動するために、外に出た。)

2. ヤイリテリテ クス ()。
yayriterite kus ()。
運動する ために 私が外に出る[単] (<日常会話>私は、運動するために、外に出た。)

3. (ヤイリテリテ) クス ()。
(yayriterite) kus ()。
私が運動する ために 私が外に出る[単] (<日常会話>私は、運動するために、外に出た。)

4. (ヤイリテリテ) クス ()。
(yayriterite) kus ()。
私が運動する ために 私が外に出る[複] (<物語文>私は、運動するために、外に出た。)

MEMO

北海道の
アイヌ語
地名考

富良野

都市名、川名。

北海道のへそと呼ばれ有名な町ですが、地名の由来については、「フラ・ヌ・イ」(臭い・感じる・川)という臭いに関係ある表現が元になっているようです。元々は、現在の十勝岳が源流であり、硫黄の臭いが混じっていた川なのでこう呼ばれたのではないかと考えられます。

例題の解答 レッスン42

1 <物語文> ヤイリテリテ クス <u>ソイエンパアン</u> 。	yayriterite kus <u>soyenpa=an</u> .
2 <日常会話> ヤイリテリテ クス <u>クソイエネ</u> 。	yayriterite kus <u>ku=soyene</u> .
3 <日常会話> クヤイリテリテ クス <u>クソイエネ</u> 。	ku=yayriterite kus <u>ku=soyene</u> .
4 <物語文> ヤイリテリテアン クス <u>ソイエンパアン</u> 。	yayriterite=an kus <u>soyenpa=an</u> .

自動詞の単数形・複数形 1



例文

オッカイポ イルシカ ワ ホプニ。

okkaypo iruska wa hopuni.

若者 腹を立てる て 立ちあがる[単] (若者が腹を立てて立ちあがった。)



単語

アイヌ語	日本語訳	備考
オッカイポ okkaypo	若者	
イルシカ iruska	腹を立てる	自動詞。他動詞「ルシカ ruska」は「事柄」が目的語で、他動詞「コイルシカ koiruska」は「人」が目的語になります。
ワ wa	～して	接続助詞。
ホプニ hopuni	立ちあがる	自動詞。単数形。複数形は「ホブンパ hopunpa」。



今日の学習

- 一部の自動詞には、単複の区別があります。「ホプニ hopuni」は主語が1人(単数)のときに使います。主語が2人以上(複数)の時には、「ホブンパ hopunpa」を使います。「イルシカ iruska」には単複の区別がありません。
- 単複の区別があり、複数形が「パ -pa」のグループには次のような語があります。レッスン46「公開収録」でも勉強する予定です。

複数形の語尾が「パ -pa」のグループ

	振り向く	頭を上げる	立ちあがる	帰る
単数形	ヘキル hekiru	ヘプニ hepuni	ホプニ hopuni	ホシピ hosipi
複数形	ヘキルパ hekirpa	ヘブンパ hepunpa	ホブンパ hopunpa	ホシツパ hosippa
	(体ごと)振り向く	訪問する	身支度する	外に出る
単数形	シキル sikiru	シネウエ sinewe	シピニ sipini	ソイエネ soyene
複数形	シキルパ sikirpa	シネウパ sinewpa	シピンパ sipinpa	ソイエンパ soyenpa

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



人称変化表

(イルシカ iruska 「～が腹を立てる」自動詞)主格人称変化

クイルシカ ku=iruska	エイルシカ e=iruska	イルシカ iruska	イルシカアン iruska=an	イルシカアシ iruska=as	エチイルシカ eci=iruska	イルシカ iruska
私が 腹を立てる	あなたが 腹を立てる	彼が 腹を立てる	(話相手を含む) 私達が 腹を立てる	(話相手を含まない) 私達が 腹を立てる	あなた達が 腹を立てる	彼らが 腹を立てる

(ホプニ hopuni [単]、ホブンパ hopunpa [複]「～が立ちあがる」自動詞)主格人称変化

クホプニ ku=hopuni	エホプニ e=hopuni	ホプニ hopuni	ホブンパアン hopunpa=an	ホブンパアシ hopunpa=as	エチホブンパ eci=hopunpa	ホブンパ hopunpa
私は 立ちあがる	あなたは 立ちあがる	彼は 立ちあがる	(話相手を含む) 私達は 立ちあがる	(話相手を含まない) 私達は 立ちあがる	あなた達は 立ちあがる	彼らは 立ちあがる



例題

次の文を完成させましょう。 ※「ホシピ hosipi、ホシツパ hosippa 帰る」

- オッカイポ イルシカ ワ ()。
okkaypo iruska wa ()。
若者 腹を立てる て 立ちあがる[単] (若者が、腹を立てて立ちあがった。)
- () ウタラ) イルシカ ワ ()。
() utar) iruska wa ()。
若者 達 腹を立てる て 立ちあがる[複] (若者達が、腹を立てて立ちあがった。)
- ポンメノコ イルシカ ワ ()。
ponmenoko iruska wa ()。
若い女 腹を立てる て 帰る[単] (若い女が、腹を立てて帰った。)
- () ウタラ) イルシカ ワ ()。
() utar) iruska wa ()。
若い女 達 腹を立てる て 帰る[複] (若い女達が、腹を立てて帰った。)

北海道のアイヌ語地名考



旭川

都市名。
上川地方の中心都市ですが、地名の由来については諸説あるようで、元々は忠別川の語源である「チュウベツ」或いは「チュウカベツ」と呼ばれていたものが旭川の由来のようです。

例題の解答 レッスン43

- オッカイポ イルシカ ワ ホプニ。 okkaypo iruska wa hopuni.
- オッカイポ ウタラ イルシカ ワ ホブンパ。 okkaypo utar iruska wa hopunpa.
- ポンメノコ イルシカ ワ ホシピ。 ponmenoko iruska wa hosipi.
- ポンメノコ ウタラ イルシカ ワ ホシツパ。 ponmenoko utar iruska wa hosippa.

自動詞の単数形・複数形 2



例文

例文1. チセ オッタ パテク オカアン。

cise or ta patek oka=an.

家 に ばかり 私がいる (私は家の中にばかりいた。<物語文>)

例文2. エシネウエ カ ソモキ ノ、チセ オッタ パテク エアン。

e=sinewe ka somo ki no, cise or ta patek e=an.

おまえが訪問する も しない で 家 に ばかり おまえはいる

(おまえは、訪問しないで家にばかりいる。)



単語

アイヌ語	日本語訳	備考
チセ cise	家	
オッタ or ta	～に	「オロタ or ta」を続けて発音すると「オッタ」となります。
パテク patek	ばかり	
オカ oka	いる[複]	
アン =an	私が<物語文>	4人称の用法の1つです。
エ e=	おまえが	
シネウエ sinewe	～が訪問する	
カ ソモキ ka somo ki	～(も)しない	
ノ no	～(しない)で	
アン an	いる[単]	



今日の学習

① 例文1も例文2も、物語の文章ですが、日常会話の「私」と物語文の「私」を区別しますので、物語文の「私が」使われている例文1にだけ、<物語文>と注記しています。

② 「ある、いる」を表わすアイヌ語は単複の区別があります。「アン an」が単数形で、「オカ oka」が複数形です。このように単数形と複数形の形が全く違うグループには、次のような語があります。レッスン46「公開収録」でも勉強する予定です。

単数形と複数形の形が全く違うグループ

	座る	ある、いる	立つ	来る	行く	歩き回る
単数形	ア a	アン an	アシ as	エク ek	オマン oman	オマンン omanan
複数形	ロク rok	オカ oka	ロシキ rosiki	アルキ arki	パイエ paye	パイエカ payeka



人称変化表

(アン an、オカ oka「～がいる」自動詞) 主格人称変化

クアン ku=an	エアン e=an	アン an	オカアン oka=an	オカアシ oka=as	エチオカ eci=oka	オカ oka
私がいる	あなたがいる	彼がいる	(話相手を含む) 私達がいます	(話相手を含まない) 私達がいます	あなたがいます	彼らがいます

(シネウエ sinewe、シネウパ sinewpa「～が訪問する」自動詞) 主格人称変化

クシネウエ ku=sinewe	エシネウエ e=sinewe	シネウエ sinewe	シネウパアン sinewpa=an	シネウパアシ sinewpa=as	エチシネウパ eci=sinewpa	シネウパ sinewpa
私が訪問する	あなたが訪問する	彼が訪問する	(話相手を含む) 私達が訪問する	(話相手を含まない) 私達が訪問する	あなたが訪問する	彼らが訪問する



例題

次の文を完成させましょう。 ※「ク ku= 私が」

1. チセ オッタ パテク ()。
cise or ta patek ()。
家 に ばかり 私がいる[複] (<物語文> 私は、家にばかりいる。)

2. チセ オッタ パテク ()。
cise or ta patek ()。
家 に ばかり 私がいる[単] (<日常会話> 私は、家にばかりいる。)

3. チセ オッタ パテク ()。
cise or ta patek ()。
家 に ばかり おまえが いる[単] (おまえは、家にばかりいる。)

4. チセ オッタ パテク ()。
cise or ta patek ()。
家 に ばかり おまえ達が いる[複] (おまえ達は、家にばかりいる。)

北海道のアイヌ語地名考



美瑛

町名、川名。

旭川の西側で忠別川に合流している川の名前から呼ばれたようです。

この美瑛川は、古い資料によると水源の十勝岳から油のように濁った水が出ていたのでこう呼ばれたと書かれており、地名の由来については「ピエ」(油が乗っている)だと思われます。

例題の解答 レッスン44
1 <物語文> チセ オッタ パテク オカアン。 cise or ta patek oka=an.
2 <日常会話> チセ オッタ パテク クアン。 cise or ta patek ku=an.
3 チセ オッタ パテク エアン。 cise or ta patek e=an.
4 チセ オッタ パテク エチオカ。 cise or ta patek eci=oka.

狩野義美さんの伝承 3



例文

例文1. オリキプニ オリキプニ ラッチカspa ラッチカspa
 orikipuni orikipuni ratcikaspa ratcikaspa
 元気よく跳ねろ 元気よく跳ねろ 静かすぎる 静かすぎる

例文2. ヘッサオホイ
 hessa o hoy

例文3. アペ サマ タ セク サマ タ
 ape sama ta sek sama ta
 火 のそば で 檻 のそば で

セク サマ タ ヘベル サマ タ
 sek sama ta heper sama ta
 檻 のそば で 仔熊 のそば で



今日の学習

- ① アイヌ語の訳は、狩野さんの説明を参考につけました。
- ② 例文1は、踊っている人にもっと元気よく踊れと檄(げき)をとばす言葉で、その言葉を聞くと、踊っている人たちは、もっとポンポンポン跳ねるように踊るのだそうです。
- ③ 例文2、3は初めてみた「イヨマンテ iyomante 熊送り」の時に聞いたものだそうです。例文3については仔熊を飼育する檻(おり)のことを、「セツ set」という人もいます。

MEMO

狩野義美さんの体験談3

狩野さんが6、7才のころ、長老格の方の家で、はじめて「イヨマンテ iyomante 熊送り」を見たのだそうです。父、照吉(てるきち)さんが中心となってやった「イヨマンテ iyomante 熊送り」の思い出を話していただきました。

- ・仔熊の檻は木を組んだもの。
- ・花矢をうつ。
- ・丸太で締める。
- ・解体。
- ・「チカルカルペ cikarkarpe (儀式用着物)」を着せる。
- ・祭壇に立てる。
- ・肉をどっさりこの世にもってきてご馳走してくれてありがとう。
- ・熊へのお礼に魚や粟の団子や酒を。
- ・「ハルランナ haru ran na」は新築祝い(「チセノミ cisenomi」)のときに。
- ・踊りの場面。
- ・熊の生皮をかぶり……。

MEMO

「公開収録」 自動詞の単数形、複数形

単数形・複数形の区別のある自動詞について勉強しましょう。全ての自動詞に単数形と複数形の区別があるわけではありません。単数形・複数形の区別のある自動詞は、語形から3つのグループに分けることができます。

単数形と複数形の形が全く違うグループ

	座る	ある、いる	立つ	来る	行く	歩き回る
単数形	ア a	アン an	アシ as	エク ek	オマン oman	オマナン omanan
複数形	ロク rok	オカ oka	ロシキ rosiki	アルキ arki	パイエ paye	パイエカ payeka

複数形の語尾が「パ -pa」のグループ

	振り向く	頭を上げる	立ちあがる	帰る
単数形	ヘキル hekiru	ヘプニ hepuni	ホプニ hopuni	ホシピ hosipi
複数形	ヘキルパ hekirpa	ヘブンパ hepunpa	ホブンパ hopunpa	ホシツパ hosippa
	(体ごと)振り向く	訪問する	身支度する	外に出る
単数形	シキル sikiru	シネウエ sinewe	シピニ sipini	ソイエネ soyene
複数形	シキルパ sikirpa	シネウパ sinewpa	シピンパ sipinpa	ソイエンパ soyenpa

単数形の語尾が「ン n」で複数形の語尾「プ p」のグループ

	入る	上る	上陸する	(浜手へ)行く	(下へ)下りる
単数形	アフン ahun	リキン rikin	ヤン yan	サン san	ラン ran
複数形	アフプ ahup	リキプ rikip	ヤプ yap	サブ sap	ラブ rap

練習問題

◆単数形と複数形の形が全く違うグループ *「アン an、オカ oka ある、いる」

- 私は、札幌にいます。
 札幌 オッタ ()。
 SAPPORO or ta ()。
 札幌 に 私がいる
- (話相手を含まない)私達は札幌にいます。
 札幌 オッタ ()。
 SAPPORO or ta ()。
 札幌 に <話相手を含まない>私達がいる
- (話相手を含む)私達は札幌にいます。
 札幌 オッタ ()。
 SAPPORO or ta ()。
 札幌 に <話相手を含む>私達がいる

◆複数形の語尾が「パ -pa」のグループ *「ホシピ hosipi、ホシツパ hosippa 帰る」

- 今日、私は帰ります。
 タント ()。
 tanto ()。
 今日 私が帰る
- 今日、(話相手を含まない)私達は帰ります。
 タント ()。
 tanto ()。
 今日 <話相手を含まない>私達が帰る
- 今日、(話相手を含む)私達は帰ります。
 タント ()。
 tanto ()。
 今日 <話相手を含む>私達が帰る

◆単数形の語尾が「ン n」で複数形の語尾が「プ p」のグループ *「アフン ahun、アフプ ahup 入る」

- 私は、会議室に入りました。
 会議室 オッタ ()。
 KAIGISHITSU or ta ()。
 会議室 に 私が入る
- (話相手を含まない)私達は、会議室に入りました。
 会議室 オッタ ()。
 KAIGISHITSU or ta ()。
 会議室 に <話相手を含まない>私達が入る
- (話相手を含む)私達は、会議室に入りました。
 会議室 オッタ ()。
 KAIGISHITSU or ta ()。
 会議室 に <話相手を含む>私達が入る

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

- 例題の解答 レッスン46
- 札幌 オッタ クアン。 SAPPORO or ta ku=an.
 - 札幌 オッタ オカアシ。 SAPPORO or ta oka=as.
 - 札幌 オッタ オカアン。 SAPPORO or ta oka=an.
 - タント クホシピ。 tanto ku=hosipi.
 - タント ホシツパアシ。 tanto hosippa=as.
 - タント ホシツパアン。 tanto hosippa=an.
 - 会議室 オッタ クアフン。 KAIGISHITSU or ta ku=ahun.
 - 会議室 オッタ アフプアシ。 KAIGISHITSU or ta ahup=as.
 - 会議室 オッタ アフファン。 KAIGISHITSU or ta ahup=an.

「～と言う」の言い方



例文

例文1. 「イテッケ イララ ヤン」 アリ ハウキ。

“itekke irara yan ” ari hawki.
 するな いたずらする と 言う (「いたずらするな」と言った。)

例文2. 「イテッケ イララ ヤン」 アリ アン ペ イエ。

“itekke irara yan ” ari an pe ye.
 するな いたずらする と いうこと 言う
 (「いたずらするな」ということを言った。)



単語

アイヌ語	日本語訳	備考
イテッケ itekke	～するな	
イララ irara	いたずらする	
ヤン yan	ませ	2人以上に対する命令。
アリ ari	～と(言う、思う)	
ハウキ hawki	言う	自動詞。
アリ アン ペ ari an pe	ということ	
イエ ye	言う	他動詞。



今日の学習

- ① 「言う」と訳すアイヌ語はいくつかありますが、例文の「ハウキ hawki」を使わない方言もあるようです。例文の「ハウキ hawki」は自動詞で、「イエ ye」は他動詞です。自動詞と他動詞では人称変化も違いますので、「アリ ハウキ ari hawki」「アリ アン ペ イエ ari an pe ye」というふうに、「アリ ari～」をつけた形で、覚えましょう。
 「発話(発言の内容)」のあとに「アリ ari」を置くと副詞句になります。一方、「発話(発言の内容)」のあとに「アリ アン ペ ari an pe」を置くと 名詞句になり、「イエ ye」の目的語となるわけです。
- ② 他動詞「イエ ye 言う」は、次の文のように「人」を目的語とすることもあります。
 「ハパパ オイオイ」 アリ フチアベ イイエ。
 “hapapa oy oy ” ari huciape i=ye.
 「ありがとう」と 火の神 私に言った。(物語の例文)
- ③ 他動詞「イエ ye」でも、「人」を目的語とした場合、「発話(発言の内容)」のあとは、「アリ ari」となる点に、注意しましょう。他動詞の目的語はひとつですから、「事柄」「人」両方を目的語にすることはできません。



人称変化表

(イララ irara 「～がいたずらする」自動詞) 主格人称変化

クイララ ku=irara	エイララ e=irara	イララ irara	イララアン irara=an	イララアシ irara=as	エチイララ eci=irara	イララ irara
私が いたずらする	あなたが いたずらする	彼が いたずらする	(話相手を含む) 私達が いたずらする	(話相手を含まない) 私達が いたずらする	あなた達が いたずらする	彼らが いたずらする

(ハウキ hawki 「～が言う」自動詞) 主格人称変化

クハウキ ku=hawki	エハウキ e=hawki	ハウキ hawki	ハウキアン hawki=an	ハウキアシ hawki=as	エチハウキ eci=hawki	ハウキ hawki
私が 言う	あなたが 言う	彼が 言う	(話相手を含む) 私達が 言う	(話相手を含まない) 私達が 言う	あなた達が 言う	彼らが 言う

(イエ ye 「～が～を言う」他動詞) 主格人称変化 *目的語が3人称の場合

クイエ ku=ye	エイエ e=ye	イエ ye	ア(ン) イエ an=ye	チイエ ci=ye	エチイエ eci=ye	イエ ye
私が ～を言う	あなたが ～を言う	彼が ～を言う	(話相手を含む) 私達が ～を言う	(話相手を含まない) 私達が ～を言う	あなた達が ～を言う	彼らが ～を言う

(イエ ye 「～が～に言う」他動詞) 目的格人称変化 *主語が3人称の場合

エンイエ en=ye	エイエ e=ye	イエ ye	イイエ i=ye	ウンイエ un=ye	エチイエ eci=ye	イエ ye
～が 私に言う	～が あなたに言う	～が 彼に言う	～が (話相手を含む) 私達に言う	～が (話相手を含まない) 私達に言う	～が あなた達に言う	～が 彼らに言う



例題

次の文を完成させましょう。

1. 「イテッケ イララ ヤン」 () ハウキ。
 “itekke irara yan ” () hawki.
 するな いたずらする と 言う (「いたずらするな」と言った。)
2. 「イテッケ イララ ヤン」 () イエ。
 “itekke irara yan ” () ye.
 するな いたずらする ということ 言う (「いたずらするな」ということを言った。)

北海道の
アイヌ語
地名考

留萌

市名、川名。

日本海側の中央付近の市名。地名の解釈については諸説あり判断が難しいのですが、元々はルルモッペと呼ばれていたことから考えると地名の由来については「ルル・モ・オッ・ベツ」(海・静かな・場所・川)だと思われます。

例題の解答 レッスン47 1 「イテッケ イララ ヤン」 アリ ハウキ。 “itekke irara yan” ari hawki.
 2 「イテッケ イララ ヤン」 アリ アン ペ イエ。 “itekke irara yan” ari an pe ye.

「～し続ける」の言い方



例文

ニス オルン アオツケ ア アオツケ ア。

nisu or un a=otke a a=otke a.

臼 へ 人が突く た 人が突く た (臼に向かって突き続ける。)



単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ニス	nisu	臼
オルン	or un	木製の臼が使われています。
ア	a=	動作が「オルン or un」で導かれる名詞に向かうことを示します。
～ア ～ア	～a ～a	一般に人が、不定の人が
オツケ	otke	過去を示す助動詞「ア a」を繰り返す構文で、動作が続くことを示します。他動詞。



今日の学習

① 同じ動作をし続けることを表わすには、例文のように「～ア ～ア ～a ～a」という構文を使います。

動詞 ア a 動詞 ア a

② 日本語では、「臼で餅をつく」と言いますが、アイヌ語では、「臼に向かって突く動作をする」ので、例文のように「ニス オルン nisu or un 臼へ」と表現します。例文では、目的語の「大豆まめ」が省略されています。一般的な説明なので、人称接辞は4人称「ア a= 一般に人が」が使われています。



アイヌ語の解説

③ 例文は、静内町の織田ステノさんが味噌を手造りした思い出話から引用しました。ゆでた大豆をついてついて粒を細かくする過程を表わしています。「ウタ uta」も「～を搗く」と訳しますが、「オツケ otke」が突く動作そのものを表わすのとは違い、「ウタ uta」は穀物を精白したり、粉にしたりすることを表わしています。

④ 「イウタ iuta (穀物などの) 搗きものをする」という語で覚えている方も多いでしょう。

MEMO



人称変化表

(オツケ otke 「～が～を突く」他動詞) 主格人称変化 *目的語が3人称の場合

クオツケ ku=otke	エオツケ e=otke	オツケ otke	ア(ン) オツケ an=otke	チオツケ ci=otke	エチオツケ eci=otke	オツケ otke
私が ～を突く	あなたが ～を突く	彼が ～を突く	(話相手を含む) 私達が ～を突く	(話相手を含まない) 私達が ～を突く	あなた達が ～を突く	彼らが ～を突く

(オツケ 「～が～を突く」他動詞) 目的格人称変化 *主語が3人称の場合

エンオツケ en=otke	エオツケ e=otke	オツケ otke	イオツケ i=otke	ウンオツケ un=otke	エチオツケ eci=otke	オツケ otke
～が 私を突く	～が あなたを突く	～が 彼を突く	～が (話相手を含む) 私達を突く	～が (話相手を含まない) 私達を突く	～が あなた達を突く	～が 彼らを突く



例題

次の文を完成させましょう。 ※「ク ku 飲む」「イク iku 飲酒する」

1. 大豆マメ アオツケ () アオツケ ()。
DAIZUmame a=otke () a=otke ()。
大豆 人が～を突く た 人が～を突く た (大豆を突きに突く。)

2. 大豆マメ (オツケ) ア (オツケ) ア。
DAIZUmame (otke) a (otke) a。
大豆 私が～を突く た 私が～を突く た (私は大豆を突きに突いた。)

3. トノト () ア () ア。
tonoto () a () a。
酒 私が飲む た 私が飲む た (私は、酒を飲み続けた。)

4. () ア () ア。
() a () a。
私が飲酒する た 私が飲酒する た (私は飲酒し続けた。)

稚内

北海道の
アイヌ語
地名考

市名。

北海道北端の市名。現在の市街地付近の呼び名が語源のようです。

古い資料ではヤムワッカナイと書かれていたようで、頭のヤムが無くなってワッカナイのみが残りそれが現在の語源になったようです。

地名の由来については「ナム・ワッカ・ナイ」(冷たい・水・川)だと思われます。

例題の解答 レッスン48

1 大豆マメ アオツケ ア アオツケ ア。 DAIZUMAME a=otke a a=otke a
2 大豆マメ クオツケ ア クオツケ ア。 DAIZUMAME ku=otke a ku=otke a
3 トノト クク ア クク ア。 tonoto ku=ku a ku=ku a.
4 クイク ア クイク ア。 ku=iku a ku=iku a.

狩野義美さんの伝承 4



今日の学習

静内町在住の狩野義美さんのお話に出てきたアイヌ語を抜粋しました。アイヌ語の表記や意味は『新冠・静内地方のアイヌ語 郷土史話 随筆集—わが思い出—』から参照しました。

1. 神への祈り



モシル コルチ	mosirkoruci	火の神、人が住む大地を司る神。
ラツチャク	ratcaku	灯り。
エネプンキネカムイ	en=epunkine kamuy	家の主人を守る神。
イオマレ	iomare	お酌(しゃく)。
トウキ	tuki	お椀。
カムイノミ	kamuynomi	神事、祈り。

2. クマヤシカの名称



キラウ コルペ	kiraw kor pe	牡鹿、オスの鹿。
キラウ	kiraw	角。
アプカ	apka	牡鹿、オスの鹿。
モマンペ	momanpe	牝鹿、メスの鹿。
クチャン	kucan	仔連れ熊。
カムイ	kamuy	熊。
キムン カムイ	kimun kamuy	熊。

MEMO

3. 病気の治癒を願って



イノンノ イタク	inonnoitak	祈り、祈り言葉。
チセ コル カムイ	cise kor kamuy	家を守る神。
アパ サムン カムイ	apasam un kamuy	戸口の守り神。

MEMO

数の表現



例文

トゥン レン アヌコシナ パクノ ポロ メノコ
 tun ren an=ukosina pakno poro menoko
 2人 3人 人がくる ほど 大きい 女 (2, 3人くるほど大きい女。)



単語

アイヌ語	日本語訳	備考
トゥン tun	2人	数名詞。
レン ren	3人	数名詞。
アン an=	(不定の)人が	4人称主格人称接辞。
ウコシナ ukosina	～が～をくる	他動詞。
パクノ pakno	～ほど	後置副詞。
ポロ poro	大きい	自動詞。アイヌ語では、形容詞も自動詞に含みます。
メノコ menoko	女	



今日の学習

- 日本語では、人を数える時は「～人」、動物を数える時は「～匹」「～頭」、本を数える時は「～冊」というふうに、言い方が細かく分かれています。アイヌ語では、人を数える言い方と、それ以外のものを数える言い方の2種類があります。
- 例文の「トゥン tun 2人」「レン ren 3人」というのは、人を数える言い方です。金丸(かなまる)テツさんの言葉2(レッスン28)で、「セタ レプ seta rep 犬三匹」という言葉がありましたが、「レプ rep」は、文字通り「レ re 3つの」、「レ p もの」という意味で、人以外のものを数える時の言い方です。



アイヌ語の解説

- 「レプ rep」の「レ re 3つの」は、人や物の区別なく「三匹の犬」とか「三人の女」という場合に使う言葉で、名詞の前に置いて人数や個数を表わします。これを、文法用語で、数連体詞と言います。数連体詞を使う時の語順は、数連体詞のあとに名詞がきます。数名詞を使う時の語順は、名詞のあとに数名詞がきます。

名詞	+	数名詞	seta	rep 「犬 三匹」
			犬	3個
数連体詞	+	名詞	re	seta 「3匹の犬」
			3つの	犬

数連体詞	～の	人の数	～人	人以外の ものの数	～個
シネ sine	1つの	シネン sinen	1人	シネプ sinep	1個
トゥ tu	2つの	トゥン tun	2人	トゥプ tup	2個
レ re	3つの	レン ren	3人	レプ rep	3個
イネ ine	4つの	イネン inen	4人	イネプ inep	4個
アシクネ asikne	5つの	アシクネン asiknen	5人	アシクネプ asiknep	5個
イワン iwan	6つの	イワニウ iwaniw	6人	イワンペ iwanpe	6個
アルワン arwan	7つの	アルワニウ arwaniw	7人	アルワンペ arwanpe	7個
トゥペサン tupesan	8つの	トゥペサニウ tupesaniw	8人	トゥペサンペ tupesanpe	8個
シネペサン sinepesan	9つの	シネペサニウ sinepesaniw	9人	シネペサンペ sinepesanpe	9個
ワン wan	10の	ワニウ waniw	10人	ワンペ wanpe	10個



人称変化表

(ウコシナ ukosina 「～が～をくる」他動詞) 主格人称変化 *目的語が3人称の場合

クウコシナ ku=ukosina	エウコシナ e=ukosina	ウコシナ ukosina	ア(ン) ウコシナ an=ukosina	チウコシナ ci=ukosina	エチウコシナ eci=ukosina	ウコシナ ukosina
私が ～をくる	あなたが ～をくる	彼が ～をくる	(話相手を含む) 私達が ～をくる	(話相手を含まない) 私達が ～をくる	あなたが ～をくる	彼らが ～をくる

(ウコシナ ukosina 「～が～をくる」他動詞) 目的格人称変化 *主語が3人称の場合

エンウコシナ en=ukosina	エウコシナ e=ukosina	ウコシナ ukosina	イウコシナ i=ukosina	ウンウコシナ un=ukosina	エチウコシナ eci=ukosina	ウコシナ ukosina
～が 私をくる	～が あなたをくる	～が 彼をくる	～が (話相手を含む) 私達をくる	～が (話相手を含まない) 私達をくる	～が あなた達をくる	～が 彼らをくる



例題

- 1人から10人まで人数を数えましょう。
- メノコ () ()。
menoko () ()。
女 2人 3人 (女2, 3人。)
- () メノコ。
() menoko .
2つの 女 (2人の女。)
- 1個から10個まで個数を数えましょう。
- セタ () ()。
seta () ()。
犬 2匹 3匹 (犬、2、3匹。)
- () セタ。
() seta .
3つの 犬 (3匹の犬。)

北海道のアイヌ語地名考



白糠

町名、川名。
道東釧路に近い町です。地名解釈には諸説があり難しいのですが、地名の由来については、海岸地帯に由来していると考え、「シラル・カ・プ」(礫岩・上・場所)だと考えられます。

例題の解答 レッスン50

- シネン、トゥン、レン、イネン、アシクネン、イワニウ、アルワニウ、トゥペサニウ、シネペサニウ、ワニウ。 sinen, tun, ren, inen, asiknen, iwaniw, arwaniw, tupesaniw, sinepesaniw, waniw.
- メノコ トゥン レン。 menoko tun ren. 3 トウ メノコ。 tu menoko.
- シネプ、トゥプ、レプ、イネプ、アシクネプ、イワンペ、アルワンペ、トゥペサンペ、シネペサンペ、ワンペ。 sinep, tup, rep, inep, asiknep, iwanpe, arwanpe, tupesanpe, sinepesanpe, wanpe.
- セタ トゥプ レプ。 seta tup rep. 6 レ セタ。 re seta.

「もう一度」の言い方



例文

ナア アルスイ スルク メノコ アヌカン ルスイ。

naa arsuy surku menoko a=nukar rusuy.

もう 一度 トリカブト 女 私は会う たい

(私は、もう一度トリカブトの女神に会いたい <物語文>)



単語

アイヌ語		日本語訳	備考
ナア	naa	まだ	
アルスイ	arsuy	一度	
スルク	surku	トリカブト、毒	
メノコ	menoko	女	
ア	a=	私は	物語の中での「私」の言い方。
ヌカン	nukan	～が～に会う	「ヌカラ nukar」が「ルスイ rusuy」の前で「ヌカン nukan」と発音されたもの。
ルスイ	rusuy	～たい	



今日の学習

① 1回、2回……と回数を数えるときには、「トゥ tu 2つの」「レ re 3つの」などの数連体詞のあとに「スイ suy ～回」をつけ、「トゥスイ tusuy 2回」「レスイ resuy 3回」と言います。ただし、「1回」は、数連体詞「シネ sine 1つの」を使わずに、「アルスイ arsuy」という言い方が使われます。

② 例文は、物語の中の表現なので、「私は～に会いたい」は、4人称「ア a=」を使って「アヌカン ルスイ a=nukan rusuy」という言い方になっています。日常会話で言う場合は、1人称「ク ku= 私が」を使い「クヌカン ルスイ ku=nukan rusuy」と言います。



アイヌ語の解説

③ 「スルク メノコ surku menoko」はトリカブトの女神を指す言い方ですが、「スルク メノコ、カムイ メノコ surku menoko, kamuy menoko トリカブトの女、神の女」という言い方もします。

④ 「スルク surku」には「毒」という意味もあります。トリカブトの根には強い毒があり、矢毒の材料にもなるため、毒という意味もあらわしていると思われます。紫色の花をつける植物で、物語では絶世の女神として描かれます。



人称変化表

(ヌカラ nukar 「～が～に会う」他動詞) 主格人称変化 *目的語が3人称の場合

クヌカラ ku=nukar	エヌカラ e=nukar	ヌカラ nukar	ア(ン)ヌカラ an=nukar	チヌカラ ci=nukar	エチヌカラ eci=nukar	ヌカラ nukar
私が ～に会う	あなたが ～に会う	彼が ～に会う	(話相手を含む) 私達が ～に会う	(話相手を含まない) 私達が ～に会う	あなた達が ～に会う	彼らが ～に会う

(ヌカラ nukar 「～が～に会う」他動詞) 目的格人称変化 *主語が3人称の場合

エンヌカラ en=nukar	エヌカラ e=nukar	ヌカラ nukar	イヌカラ i=nukar	ウンヌカラ un=nukar	エチヌカラ eci=nukar	ヌカラ nukar
～が 私に会う	～が あなたに会う	～が 彼に会う	～が (話相手を含む) 私達に会う	～が (話相手を含まない) 私達に会う	～が あなた達に会う	～が 彼らに会う



例題

次の文を完成させましょう。

※「オマン oman、パイエ paye 行く」

- ナア () スルク メノコ アヌカン ルスイ。
naa () surku menoko a=nukan rusuy.
まだ 一度 トリカブト 女(神) 私は会う ～たい
(<物語文> もう一度、私は、トリカブトの女神に会いたい。)
- ナア () スルク () ヌカン ルスイ。
naa () surku (nukan) rusuy.
まだ 一度 トリカブト 私は見る ～たい (<日常会話> もう一度、私は、トリカブトを見たい。)
- ナア () () ルスイ。
naa () () rusuy.
まだ 一度 私が行く[単] ～たい (<日常会話> もう一度、私は、行きたい。)
- ナア () () ルスイ。
naa () () rusuy.
まだ 一度 私が行く[複] ～たい (<物語文> もう一度、私は、行きたい。)

北海道の
アイヌ語
地名考

幕別

町名。
十勝川の南岸の町です。地名については資料等が少ないのですが、静内地区にもかつてあったとされるマクンベツと同じものと解釈すれば「マク・ウン・ペツ」(奥・場所・川)になると思われます。

例題の解答 レッスン51

1 ナア	アルスイ	スルク	メノコ	アヌカン	ルスイ。	naa	arsuy	surku	menoko	a=nukan	rusuy.
2 ナア	アルスイ	スルク	クヌカン	ルスイ。		naa	arsuy	surku	ku=nukan	rusuy.	
3 ナア	アルスイ	クオマン	ルスイ。			naa	arsuy	ku=oman	rusuy.		
4 ナア	アルスイ	パイエ	アン	ルスイ。		naa	arsuy	paye=an	rusuy.		

まとめ

物語文では、実際に語る人の「私」と、物語の中の「私」を区別するために、日常会話の人称接辞「ク ku= 私が」、
「エン en=私を」を使わないで、「ア(ン) a(n)=、アン =an 私が」「イi=私を」が使われます。

人称変化表では、「(話相手を含む)私達」のところ、4人称の人称接辞です。4人称にはいろいろな用法があるので、今まで、用法のひとつだけをのせていました。物語の中の「私」を示すのも4人称ですから、物語の中の「私」は
どうかは、今までの人称変化表では、中央に位置する「(話相手を含む)私達が」や「(話相手を含む)私達を」のところ
を見て下さい。下の表では、4人称のところを「(物語の中の)私(達)が」、「(物語の中の)私(達)を」という訳に置きかえ
ました。

表1. 自動詞: 主格人称変化

ク~ ku=~	エ~ e=~	~	~アン ~=an (物語の中の) 私(達)が~	~アシ ~=as (話相手を含まない) 私達が	エチ~ eci=~	~
私~	あなたが~	彼が~			あなたが~	彼らが~

表2. 他動詞: 主格人称変化

ク~ ku=~	エ~ e=~	~	ア(ン)~ an=~ (物語の中の) 私(達)が~	チ~ ci=~ (話相手を含まない) 私達が~	エチ~ eci=~	~
私~	あなたが~	彼が~			あなたが~	彼らが~

表3. 他動詞: 目的格人称変化 *主語が3人称の場合

エン~ en=~ ~が 私に	エ~ e=~ ~が あなたに~	~ ~が 彼に~	イ~ i=~ ~が (物語の中の) 私(達)を~	ウン~ un=~ ~が (話相手を含まない) 私達を~	エチ~ eci=~ ~が あなた達を~	~ ~が 彼らを~
----------------------	-----------------------	----------------	--------------------------------	-----------------------------------	---------------------------	-----------------

名詞の所属形につく人称接辞「ク ku=私の」も、物語の中では、表4のように4人称「(物語の中の)私(達)の」になります。

表4. 名詞: 所有格人称変化 *所属形

ク~ ku=~	エ~ e=~	~	ア(ン)~ an=~ (物語の中の) 私(達)の~	チ~ ci=~ (話相手を含まない) 私達の~	エチ~ eci=~	~
私の~	あなたの~	彼の~			あなた達の~	彼らの~

練習問題1

次の文の、物語文の「私」を、日常会話の「私」に言い換えましょう。

◆<物語文> 他動詞 *表2 → 日常会話の「私」に言い換える。

1. 私は、会いたい。 レッスン51
アヌカン ルスイ。 → (ヌカン) ルスイ。
a=nukan rusuy. (nukan) rusuy.
私~が会う

◆<物語文> 他動詞 *表3 → 日常会話の「私」に言い換える。

2. 火の神さまが、私に言った。 レッスン47
フチアベ イイエ。 → フチアベ (イエ)。
huciape i=ye. huciape (ye)
火の神 私に言う 火の神 私に言う

◆単複の区別のある 自動詞 *表1

3. <物語文> 私は、運動するために外に出た。 レッスン42
ヤイリテリテ クス ソイエンバアン。
yayriterite kus soyenpa=an.
運動する ために 私が外に出る

→ 日常会話の「私」に言い換える。
*「ソイエネ soyene、ソイエンバ soyenpa」
→ ヤイリテリテ クス ()。
yayriterite kus ()。
運動する ために 私が外に出る

4. <物語文> 私は、家にばかりいた。 レッスン44

チセ オッタ パテク オカアン。
cise or ta patek oka=an.

*「アン an、オカ oka」
→ チセ オッタ パテク ()。
cise or ta patek ()。
家 に ばかり 私がいる

練習問題2

次の文の、日常会話の「私」を、物語文の「私」に言い換えましょう

◆単複の区別のない自動詞 *表1

5. 私は、食事をした。 レッスン17
クイペ。
ku=ipe
私~が食事する

→ 物語文の「私」に言い換える。

→ (イペ)。
(ipe)。
私~が食事する

◆他動詞「私」 *表2

6. <日常会話> 私は、忘れもしない。 レッスン10
クオイラ カ ソモ キ。
ku=oyra ka somo ki
私~が忘れる も ~ない する

→ 物語文の「私」に言い換える。

→ (オイラ) カ ソモ キ。
(oyra) ka somo ki
私~が忘れる も ~ない する

◆他動詞「私を」 *表3

7. <日常会話> しゃもじで私を叩く。 レッスン36
カスプ アリ エンキク。
kasup ari en=kik.
しゃもじ で 私を叩く

→ 物語文の「私を」に言い換える。

→ カスプ アリ (キク)。
kasup ari (kik)。
しゃもじ で 私を叩く

◆名詞の所属形「ク ku=私の」 *表4

8. <日常会話> 私は、私の弟に会いたい。 レッスン25
クアキ クヌカン ルスイ。
ku=aki ku=nukan rusuy.
私の弟 私が会う たい

→ 物語文の「私の」に言い換える。

→ (アキ) (ヌカン) ルスイ。
(aki) (nukan) rusuy.
私の弟 私が会う たい

◆他動詞「a=en=人が私を/人が私に」

→ 物語文の「人が私を」に言い換える。

9. <日常会話> 私は尋ねられ(人が私に尋ね)ても…。 レッスン37

アエンコウウエペケンヌ ヤツカ…。
a=en=kouwepekennu yakka….
人が私に尋ねる ても

→ (コウウエペケンヌ) ヤツカ…。
(kouwepekennu) yakka….
人が私に尋ねる て

○物語文では「私」も「私達」も4人称で表わします。

<日常会話> 「私達」「チ ci=、アシ =as、ウン un=」 ⇔ <物語文> 4人称「ア(ン) an=、アン =an、イ i=」

例題の解答 レッスン52

- 1 クヌカン ルスイ。 ku=nukan rusuy. 2 フチアベ エンイエ。 huciape en=ye. 3 ヤイリテリテ クス クソイエネ。 yayriterite kus ku=soyene.
- 4 チセ オッタ パテク クアン。 cise or ta patek ku=an. 5 イペアン。 ipe=an. 6 アオイラ カ ソモ キ。 a=oyra ka somo ki.
- 7 カスプ アリ イキク。 kasup ari i=kik. 8 アアキ アヌカン ルスイ。 a=aki a=nukan rusuy. 9 アイコウウエペケンヌ ヤツカ…。 a=i=kouwepekennu yakka….

まとめ

物語文では、実際に語る人の「私」と、物語の中の「私」を区別するために、日常会話の人称接辞「ク ku= 私が」、
「エン en=私を」を使わないで、「ア(ン) a(n)=、アン =an 私が」「イ i=私を」が使われます。

人称変化表では、「(話相手を含む)私達」のところ、4人称の人称接辞です。4人称にはいろいろな用法があるので、今まで、用法のひとつだけをのせていました。物語の中の「私」を示すのも4人称ですから、物語の中の「私」は
どうかは、今までの人称変化表では、中央に位置する「(話相手を含む)私達が」や「(話相手を含む)私達を」のところ
を見て下さい。下の表では、4人称のところを「(物語の中の)私(達)が」、「(物語の中の)私(達)を」という訳に置きかえ
ました。

表1. 自動詞:主格人称変化

ク〜 ku=〜 私が〜	エ〜 e=〜 あなたが〜	〜 彼が〜	〜アン〜 =an (物語の中の) 私(達)が〜	〜アシ〜 =as (話相手を含まない) 私達が	エチ〜 eci=〜 あなたが〜	〜 彼らが〜
----------------	-----------------	----------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------	-----------

表2. 他動詞:主格人称変化

ク〜 ku=〜 私が〜	エ〜 e=〜 あなたが〜	〜 彼が〜	ア(ン)〜 an=〜 (物語の中の) 私(達)が〜	チ〜 ci=〜 (話相手を含まない) 私達が〜	エチ〜 eci=〜 あなたが〜	〜 彼らが〜
----------------	-----------------	----------	---------------------------------	-------------------------------	--------------------	-----------

表3. 他動詞:目的格人称変化 *主語が3人称の場合

エン〜 en=〜 〜が 私に	エ〜 e=〜 〜が あなたに〜	〜 〜が 彼に〜	イ〜 i=〜 〜が (物語の中の) 私(達)を〜	ウン〜 un=〜 〜が (話相手を含まない) 私達を〜	エチ〜 eci=〜 〜が あなたが〜	〜 〜が 彼らを〜
----------------------	-----------------------	----------------	--------------------------------	-----------------------------------	--------------------------	-----------------

名詞の所属形につく人称接辞「ク ku=私の」も、物語の中では、表4のように4人称「(物語の中の)私(達)の」になります。

表4. 名詞:所有格人称変化 *所属形

ク〜 ku=〜 私の〜	エ〜 e=〜 あなたの〜	〜 彼の〜	ア(ン)〜 an=〜 (物語の中の) 私(達)の〜	チ〜 ci=〜 (話相手を含まない) 私達の〜	エチ〜 eci=〜 あなたが〜	〜 彼らの〜
----------------	-----------------	----------	---------------------------------	-------------------------------	--------------------	-----------

練習問題1

次の文の、物語文の「私」を、日常会話の「私」に言い換えましょう。

◆<物語文> 他動詞 *表2 → 日常会話の「私」に言い換える。

1. 私は、会いたい。 レッスン51
アヌカン ルスイ。 → (ヌカン) ルスイ。
a=nukan rusuy. (nukan) rusuy.
私があう

◆<物語文> 他動詞 *表3 → 日常会話の「私を」に言い換える。

2. 火の神さまが、私に言った。 レッスン47
フチアベ イイエ。 → フチアベ (イエ)。
huciape i=ye. huciape (ye)
火の神 私に言う 火の神 私に言う

◆単複の区別のある 自動詞 *表1

3. <物語文> 私は、運動するために外に出た。 レッスン42
ヤイリテリテ クス ソイエンバアン。
yayriterite kus soyenpa=an.
運動する ために 私が外に出る

→ 日常会話の「私」に言い換える。
*「ソイエネ soyene、ソイエンバ soyenpa」
→ ヤイリテリテ クス ()。
yayriterite kus ()。
運動する ために 私が外に出る

4. <物語文> 私は、家にばかりいた。 レッスン44

チセ オッタ パテク オカアン。
cise or ta patek oka=an.

*「アン an、オカ oka」
→ チセ オッタ パテク ()。
cise or ta patek ()。
家 に ばかり 私がいる

練習問題2

次の文の、日常会話の「私」を、物語文の「私」に言い換えましょう

◆単複の区別のない自動詞 *表1

5. 私は、食事をした。 レッスン17
クイペ。
ku=ipe
私が食事する

→ 物語文の「私」に言い換える。
→ (イペ)。
(ipe)。
私が食事する

◆他動詞「私」 *表2

6. <日常会話> 私は、忘れもしない。 レッスン10
クオイラ カ ソモ キ。
ku=oyra ka somo ki
私が忘れる も ~ない する

→ 物語文の「私」に言い換える。
→ (オイラ) カ ソモ キ。
(oyra) ka somo ki
私が忘れる も ~ない する

◆他動詞「私を」 *表3

7. <日常会話> しゃもじで私を叩く。 レッスン36
カスプ アリ エンキク。
kasup ari en=kik.
しゃもじ で 私を叩く

→ 物語文の「私を」に言い換える。
→ カスプ アリ (キク)。
kasup ari (kik)。
しゃもじ で 私を叩く

◆名詞の所属形「ク ku=私の」 *表4

8. <日常会話> 私は、私の弟に会いたい。 レッスン25
クアキ クヌカン ルスイ。
ku=aki ku=nukan rusuy.
私の弟 私が会う たい

→ 物語文の「私の」に言い換える。
→ (アキ) (ヌカン) ルスイ。
(aki) (nukan) rusuy.
私の弟 私が会う たい

◆他動詞「a=en=人が私を/人が私に」

→ 物語文の「人が私を」に言い換える。

9. <日常会話> 私は尋ねられ(人が私に尋ね)ても…。 レッスン37

アエンコウウエペケンヌ ヤツカ…。
a=en=kouwepekennu yakka….
人が私に尋ねる ても

→ (コウウエペケンヌ) ヤツカ…。
(kouwepekennu) yakka….
人が私に尋ねる て

○物語文では「私」も「私達」も4人称で表わします。

<日常会話> 「私達」「チ ci=、アシ =as、ウン un=」 ⇔ <物語文> 4人称「ア(ン) an=、アン =an、イ i=」

例題の解答 レッスン52

- 1 クヌカン ルスイ。 ku=nukan rusuy.
- 2 フチアベ エンイエ。 huciape en=ye.
- 3 ヤイリテリテ クス クソイエネ。 yayriterite kus ku=soyene.
- 4 チセ オッタ パテク クアン。 cise or ta patek ku=an.
- 5 イペアン。 ipe=an.
- 6 アオイラ カ ソモ キ。 a=oyra ka somo ki.
- 7 カスプ アリ イキク。 kasup ari i=kik.
- 8 アアキ アヌカン ルスイ。 a=aki a=nukan rusuy.
- 9 アイコウウエペケンヌ ヤツカ…。 a=i=kouwepekennu yakka….



単語表

平成21年度アイヌ語ラジオ講座テキストvol.4に掲載した単語です。

(ただし、狩野義美さんの伝承をのぞきます。)
()内の数字は掲載したレッスン番号です。

ア a= 一般に人が、不定の人が。(48)
 ア a= <物語の中の>私が。(51)(52)
 ア a= <物語の中の>私の。(52)
 ア a ~が座る。(44)(46)
 ~ア ~ア ~a ~a ~し続ける。(48)
 アイ a=i= (物語の中の)人が私を、私は~される。(52)
 アエン a=en= 人が私を、私は~される。(52)
 アキ aki ~の弟。(52)
 アシ as ~が立つ。(44)(46)
 アシクネ asikne 5つの。(50)
 アシクネブ asiknep 5個。(50)
 アシクネン asiknen 5人。(50)
 アフブ ahup ~が入る。(46)
 アフン ahun ~が入る。(46)
 アリ ari ~で。(52)
 アリ ari ~と(言う、思う)。(47)
 アリ アン ペ ari an pe ~ということ。(47)
 アルキ arki ~が来る。(44)(46)
 アルスイ arsuy 一度。(51)
 アルワニウ arwaniw 7人。(50)
 アルワン arwan 7つの。(50)
 アルワンペ arwanpe 7個。(50)
 アン= an= 一般に人が。不定の人が。(50)
 アン =an <物語の中の>私が。(42)(44)(52)
 アン an ~がいる。(44)(46)(52)
 イ i= <物語の中の>私に。(47)(52)
 イエ ye ~が~を言う。~が~に言う。(47)(52)
 イテツケ itekke ~するな。(47)
 イネ ine 4つの。(50)
 イネブ inep 4個。(50)
 イネン inen 4人。(50)
 イベ ipe ~が食事する。(52)
 イララ irara ~がいたずらする。(47)
 イルシカ iruska ~が腹を立てる。(43)
 イワニウ iwaniw 6人。(50)
 イワン iwan 6つの。(50)
 イワンペ iwanpe 6個。(50)
 ウコシナ ukosina ~が~をくくる。(50)
 ウタラ utar ~たち。(43)
 エ e= おまえが。(44)
 エク ek ~が来る。(44)(46)
 エン en= 私を。(52)
 オイラ oyra ~が~を忘れる。(52)
 オカ oka ~がいる。(44)(46)(52)
 オツカイボ okkaypo 若者。(43)
 オツケ otke ~が~を突く。(48)
 オッタ or ta ~に。(44)(52)
 オマナン omanan ~が歩き回る。(44)(46)
 オマン oman ~が行く。(44)(46)
 カ ka も。(44)(52)
 カスプ kasup しゃもじ(お汁をすくう道具)。(52)
 カムイ メノコ kamuy menoko 女神。(51)
 キク kik ~が~を叩く。(52)
 ク ku= 私が。(51)(52)

ク ku= 私の。(52)
 クス kus ~ために。(42)(52)
 クス kusu ~ために。(42)
 コウエペケンヌ kouwepekennu ~が~に尋ねる。(52)
 サブ sap ~が(浜手へ)行く。(46)
 サン san ~が(浜手へ)行く。(46)
 シキル sikiru ~が(体ごと)振り向く。(43)(46)
 シキルバ sikirpa ~が(体ごと)振り向く。(43)(46)
 シネ sine 1つの。(50)
 シネブ sinep 1個。(50)
 シネン sinen 1人。(50)
 シネウエ sinewe ~が訪問する。(43)(44)(46)
 シネウバ sinewpa ~が訪問する。(43)(46)
 シネベサニウ sinepesaniw 9人。(50)
 シネベサン sinepesan 9つの。(50)
 シネベサンペ sinepesanpe 9個。(50)
 シビニ sipini ~が身支度する。(43)(46)
 シピンバ sipinpa ~が身支度する。(43)(46)
 スルク surku トリカブト、毒。(51)
 スルク メノコ surku menoko トリカブトの女神。(51)
 ソイエネ soyene ~が外に出る。(43)(46)(52)
 ソイエンバ soyenpa ~が外に出る。(42)(43)(46)(52)
 ソモ somo ~しない。(44)
 ソモ キ somo ki ~しない。(44)(52)
 大豆マメ DAIZUmame 大豆。(48)
 タント tanto 今日。(46)
 チセ cise 家。(44)(52)
 トウ tu 2つの。(50)
 トウブ tup 2個。(50)
 トウベサニウ tupesaniw 8人。(50)
 トウベサン tupesan 8つの。(50)
 トウベサンペ tupesanpe 8個。(50)
 トウン tun 2人。(50)
 ナア アルスイ naa arsuy もう一度。(51)
 ナア naa まだ。(51)
 ニス nisu 臼。(48)
 ヌカラ nukar ~が~に会う。(51)
 ヌカン nukan ~が~に会う。(51)(52)
 ノ no ~(しない)で。(44)
 バイエ paye ~が行く。(44)(46)
 バイエカ payeka ~が歩き回る。(44)(46)
 ハウキ hawki ~が言う。(47)
 パクノ pakno ほど、くらい。(50)
 パテク patek ばかり。(44)(52)
 ハババ オイ オイ hapapa oy oy ありがとう。(47)
 フチアベ huciape 火の神。(47)(52)
 ヘキル hekiru ~が振り向く。(43)(46)
 ヘキルバ hekirpa ~が振り向く。(43)(46)
 ヘプニ hepuni ~が頭を上げる。(43)(46)
 ヘブンバ hepunpa ~が頭を上げる。(43)(46)
 ホシピ hosipi ~が帰る。(43)(46)
 ホシツパ hosippa ~が帰る。(43)(46)
 ホプニ hopuni ~が立ち上がる。(43)(46)
 ホブンバ hopunpa ~が立ち上がる。(43)(46)

ポロ poro ~が大きい。(50)
 メノコ menoko 女。(50)
 ヤイリテリテ yayriterite ~が運動する。(42)(52)
 ヤッカ yakka ~ても。(52)
 ヤブ yap ~が上陸する。(46)
 ヤン yan ~が上陸する。(46)
 ヤン yan ~ませ。(47)
 ラブ rap ~が(下へ)下りる。(46)
 ラン ran ~が(下へ)下りる。(46)
 リキブ rikip ~が上る。(46)
 リキン rikin ~が上る。(46)
 ルスイ rusuy ~たい。(51)(52)
 レ re 3つの。(50)
 レブ rep 3個。(50)
 レン ren 3人。(50)
 ロシキ roski ~が立つ。(44)
 ロク rok ~が座る。(44)
 ワ wa ~て。(43)
 ワニウ waniw 10人。(50)
 ワン wan 10の。(50)
 ワンペ wanpe 10個。(50)

日本語引き

(名詞)

※50音順に並べています。

家 チセ cise (44)(52)
 1個 シネブ sinep (50)
 臼 ニス nisu (48)
 (の)弟 アキ aki (52)
 女 メノコ menoko (50)
 9個 シネベサンペ sinepesanpe (50)
 9人 シネベサニウ sinepesaniw (50)
 5個 アシクネブ asiknep (50)
 5人 アシクネン asiknen (50)
 3個 レブ rep (50)
 3人 レン ren (50)
 しゃもじ(お汁をすくう道具) カスプ kasup (52)
 10人 ワニウ waniw (50)
 10個 ワンペ wanpe (50)
 大豆 大豆マメ DAIZUmame (48)
 トリカブト、毒 スルク surku (51)
 トリカブトの女神 スルク メノコ surku menoko (51)
 7個 アルワンペ arwanpe 7(50)
 7人 アルワニウ arwaniw (50)
 2個 トウブ tup (50)
 8個 トウベサンペ tupesanpe (50)
 8人 トウベサニウ tupesaniw (50)
 1人 シネン sinen (50)
 火の神 フチアベ huciape (47)(52)
 2人 トウン tun (50)
 女神 カムイ メノコ kamuy menoko (51)
 4個 イネブ inep (50)
 4人 イネン inen (50)
 6人 イワニウ iwaniw (50)
 6個 イワンペ iwanpe (50)
 若者 オツカイボ okkaypo (43)

日本語引き

(動詞)

※「~が」「~が~を」「~が~に」を
はずした形で50音順に並べています。

~が~に 会う ヌカラ nukar (51)
 ~が~に 会う ヌカン nukan (51)(52)
 ~が 上る リキブ rikip (46)
 ~が 上る リキン rikin (46)
 ~が 頭を上げる ヘプニ hepuni (43)(46)
 ~が 頭を上げる ヘブンバ hepunpa (43)(46)
 ~が 歩き回る オマナン omanan
 ~が 歩き回る バイエカ payeka (44)(46)
 ~が 言う ハウキ hawki (47)
 ~が 行く オマン oman (44)(46)
 ~が 行く バイエ paye (44)(46)
 ~が (浜手へ)行く サブ sap (46)
 ~が (浜手へ)行く サン san (46)
 ~が いたずらする イララ irara (47)
 ~が いる アン an (44)(46)(52)
 ~が いる オカ oka (44)(46)(52)
 ~が 運動する ヤイリテリテ yayriterite (42)(52)
 ~が 大きい ポロ poro (50)
 ~が (下へ)下りる ラブ rap (46)
 ~が (下へ)下りる ラン ran (46)
 ~が 帰る ホシツパ hosippa (43)(46)
 ~が 帰る ホシピ hosipi (43)(46)
 ~が~を くくる ウコシナ ukosina (50)
 ~が 来る アルキ arki (44)(46)
 ~が 来る エク ek (44)(46)
 ~が 上陸する ヤブ yap (46)
 ~が 上陸する ヤン yan (46)
 ~が 食事する イベ ipe (52)
 ~が 座る ア a (48)
 ~が 座る ロク rok (44)
 ~が 外に出る ソイエネ soyene (43)(46)(52)
 ~が 外に出る ソイエンバ soyenpa (42)(43)(46)(52)
 ~が~に 尋ねる コウエペケンヌ kouwepekennu (52)
 ~が~を 叩く キク kik (52)
 ~が 立ち上がる ホプニ hopuni (43)(46)
 ~が 立ち上がる ホブンバ hopunpa (43)(46)
 ~が 立つ アシ as (44)(46)
 ~が 立つ ロシキ roski (44)
 ~が~を 突く オツケ otke (48)
 ~が 入る アフブ ahup (46)
 ~が 入る アフン ahun (46)
 ~が 腹を立てる イルシカ iruska (43)
 ~が 振り向く ヘキル hekiru (43)(46)
 ~が 振り向く ヘキルバ hekirpa (43)(46)
 ~が (体ごと)振り向く シキル sikiru (43)(46)
 ~が (体ごと)振り向く シキルバ sikirpa (43)(46)
 ~が 訪問する シネウエ sinewe (43)(44)(46)
 ~が 訪問する シネウバ sinewpa (43)(46)
 ~が 身支度する シビニ sipini (43)(46)
 ~が 身支度する シピンバ sipinpa (43)(46)
 ~が~を 忘れる オイラ oyra (52)